Ⅵ-19. テキスト受入

概要

他のソフトウェアで作成されたデータを本システムに取り込んで利用 することができます。取り込みできるファイル形式は、CSV形式と なります。

注意点

受け入れるテキストファイルの文字コードは「Shift-JIS」、 改行コードは「CR-LF」を指定して下さい。

画面説明

《テキスト受入 画面イメージ》

勤	次郎 Enterprise	ログア 前進備 (f	ウト 副人設定 カジャール	打刻 締め	75	約 左席/伝言		
B	通 太郎	テキスト	受入					
	基準日	1 2015/06/29	V					
	条件設定選択	2 条件名称を検索 00001 個人情報	する 順マスタ 🗸					
	受入ファイル	4 (5)受入ファイルの	: 1 行目から受入を	行う。			参照	
	受入モード	6 前除街に受け 新規受入と、上	け入れ 受け入れ 書き受入を行う ▼	(会社のデータを全て	削除 🗸			
8	●受入データを確認↓		-2020/A100					
$\left \right $	ファイル名	個人情報.txt						
6	ファイルレイアウト	1列目	2列目	3列目	4列目	5列目	6列目	7列目
Y	581001751	会社CD[基本]	社員CD[基本]	社員氏名[基本]	社員略名[基本]	社員扩氏名[基本]	生年月日[基本]	性別[基本]
	受入データ ※5行目迄の確認となります。	00001:1	00002:"A0501601"	00003:"80001601"	00004:"日通 次郎"	00005:"ニッツウ ジ`ロウ"	00006:"1986/11/11"	00007:"0"
		00001:1	00002:"A0501602"	00003:"80001602"	00004:"日通 次郎"	00005:"באָיָל אַיָראָ	00006:"1986/11/11"	00007:"0"
		00001:1	00002:"A0501603"	00003:"80001603"	00004:"日通 次郎"	00005:"ニッツウ ୬`ロウ"	00006:"1986/11/11"	00007:"0"
		00001:1	00002:"A0501604"	00003:"80001604"	00004:"日通 次郎"	00005:"ニッツウ シ゛ロウ"	00006:"1986/11/11"	00007:"0"
		00001:1	00002:"A0501605"	00003:"80001605"	00004:"日通 次郎"	00005:"באָשָׁל אַיָּם אַיָּם אַיָּם אַיַר	00006:"1986/11/11"	00007:"0"
	6	<						>
(10)受入履歴(過去1ヶ月)	参照(実行	5期間: 2015/05/29	00:00:00 ~ 2015	/06/29 23:59:59)			
(11)	受入実行							
\succeq								
(ë		動次郎)	Web ページ ダイアログ					
	外部受入条件: 00003 資格受け入れ							
	経過時間:00:00:01.968			成功件数:4件	失敗件数:0件			
	実行状態							
	売了しました。							

《テキスト受入 項目説明》

- (1) 基準日 個人情報の履歴データを上書きする際の基準日を選択します。
- (2) 条件名称を検索する

検索する名称を入力しEnterキーを押します。

- (3)条件設定選択 テキスト受入条件設定画面にて登録された条件名称(受入項目レイア ウト)を選択します。
- (4) 受入ファイル 受入ファイルを選択します。
- (5) 受入ファイルのn行目から受入を行う 受入ファイルに選択されたテキストファイルの何行目から受入を行う かを指定します。
- (6) 受入モード
 - 削除後に受け入れ

受入を実行する前に、既に存在しているデータを削除するかどうかを
 設定します。「受け入れる会社のデータを全て削除」、「受け入れ対象のデータのみ削除」を選択できます。
 ※一度削除した内容は戻すことができませんので、バックアップ等を
 行ってから受入を実行することをお薦めします。

新規受入のみ/新規受入と上書き受入/上書き受入のみ

「新規受入れのみを行う」、「新規受入と、上書き受入を行う」「上 書き受入のみを行う」を選択できます。 ※「削除後に受け入れ」にチェックが入っていると選択できません。

- (7) 別会社のデータも受け入れる。
 ログインしている会社とは別の会社のデータも受け入れる場合にチェックをつけます。
 ※受入ファイルのデータをそのまま別会社のデータとして受け入れます。(別会社のデータをログイン会社に変換して受入ではありません。)
- (8) 受入データを確認↓

受入データをファイルレイアウトに表示します。

- (9) ファイルレイアウト 受入データを5行目まで表示します。
- (10)受入履歴 過去1ヶ月分の受入実行の履歴を確認できます。
- (11)受入実行 テキストファイルの受入処理を実行します。 同時に受入履歴が作成されます。
- (12)閉じる 画面を閉じます。

《受入履歴 画面イメージ》

			動次郎 Web ページ タイアロ	Ŭ		
< 履歴参照> €行期間: 2015/05/2	3 00:00:00 ~ 2015	i/06/26 23:59:E	59			
2 開始日時	(3)終7日時(4 条件コード	5 条件名称	6 成功件数	7 失敗件数	8 エラーログ
2015/06/26 14:04:13	2015/06/26 14:04:15	5 00003	資格情報	4件	0件	ダウンロード
2015/06/26 14:02:09	2015/06/26 14:02:10	00003	資格情報	0(4	4件	ダウンロード
2015/06/26 14:00:49	2015/06/26 14:00:50	00003	資格情報	0件	4件	ダウンロード*
2015/06/26 13:55:03	2015/06/26 13:55:04	4 00001	個人情報マスタ	14件	0件	ダウンロード
2015/06/26 13:54:33	2015/06/26 13:54:35	5 00001	個人情報マスタ	12件	2件	ダウンロード

《受入履歴 項目説明》

- (1) 実行期間 現在から過去1ヶ月が対象期間となります。
- (2) 開始日時 テキストファイルの受入処理を実行した日時を表示します。
- (3) 終了日時 テキストファイルの受入処理が終了した日時を表示します。
- (4) 条件コード 条件設定選択で指定した受入項目レイアウトのコードを表示します。
- (5) 条件名称 条件設定選択で指定した受入項目レイアウトの名称を表示します。
- (6) 成功件数 受入処理を実行したとき、受入に成功した件数を表示します。
- (7) 失敗件数 受入処理を実行したとき、受入に失敗した件数を表示します。
- (8) エラーログ 受入に失敗した内容をダウンロードすることができます。

《外部受入条件設定 画面イメージ》

動次郎 Web ページ ダイアログ		×
Ghttp:// /KinjirouWeb	/Common/approve/kwtx03/kwtx03op1.aspx	
< 外部受入条件設定> 新規 登録 削除 コード変換	複写 閉じる Smile連携	
コート* 条件設定名称	コード(必須) 00001 (数字5桁)	
01000 個人情報マスタ 01200 勤怠実績	名称 (必須) 個人情報マスタ	(全角10文字)
01205 甲請指律版 01250 打刻指律服	テーブル選択 110 (個人/情報725(Ver2) V	検索
01300 注文データ 01350 アラームリスト	受入先項目一覧 選択	された受入項目一覧
	全件	詳細設定
	NO 項目名 NC	〕項目名
	0008 社自中学科学科(表表) 0008 0029 個人外形下以[基本] 0001 0030 携帯+いたい[X]基本] 0006 0031 振・いたい[X]基本] 0006 0031 (動力) (動力) 0031 (動力) (動力) 0031 (動力) (動力) 0031 (動力) (動力) 0032 会社用帯号[基本] 0006 0032 会社用帯書[基本] 0007 0038 谷舟/170ト・「変更区分[基本] 0017 0038 谷舟/170ト・「変更区分[基本] 0016 0047 (個人外部公長) 0017 0061 が日所に閉(見住力] 0047 0061 が日前72(現住用) 0045 0077 谷戸公(日常) 0058 0123 レイバー(使用2(外部開)) (動58) 0123 レイバー(使用3(分) (助売3) 0147 副市織東部(現分) (勤658) 0158 町日就業開始2(就業) 0065	
	受入ファイル 受入ファイルタ 1 行日をヘッダーにする	参照
v	受入ファイルの 2 行目から受入を行う。	×a

《外部受入条件設定 画面イメージ①》

<外部受入条件設定>		
新規登録	削除 山-卜"変換 裡写	閉じる Smile連携

《外部受入条件設定 項目説明①》

- (1) コード変換 コード変換設定画面を開きます。
- (2) 複写 複写したい条件を左のリストから選択して複写ボタンを押し、同じ
 受入項目設定の条件設定を作成します。
 新しい条件コードと名称を入力してください。
- (3) Smile連携 Smile連携設定画面を開きます。

《外部受入条件設定 画面イメージ②》

)コード (必須)	00001 (数字5桁)
(2)	名称(必須)	個人情報マスタ (全角10文字)
3	テーブル選択	110 個人情報マスタ(Ver2) 🗸 (4) 検索

《外部受入条件設定 項目説明②》

- (1) コード
 00001~99999までの番号を任意につけてください。
 登録後はコードの変更はできません。コードを変更する場合は削除してから再登録してください。
- (2) 名称 条件設定名称を表示・入力します。
- (3) テーブル選択 条件設定を行う対象のテーブルを選択します。
- (4) 検索 テーブル名を入力し検索ボタンを押すと、該当するテーブルをテー ブル選択に表示します。

《外部受入条件設定 画面イメージ③》

	受入党	间目一覧				選択さ	もれた受入項目一覧	
	全件	~		1 検索			2) 詳細設定
	NO	項目名				NO	項目名	
3	0008 0029 0030 0031 0032 0033 0038 0039 0040 0047 0060 0061 0061 0061 0061 0061 0077 0114 0123 0147 0159	社個携個会が給給肥個がかかれた。 「「「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、」、「」、「」、」、「」、」、」、「」、」、「」、」、「」、「	3[基本] [基本] [基本] [基本] [基本] [基本] [基本] [基本]		5 6 選択→ 7 ←戻し 8 全て→ ←全て	0003 0004 0005 0006 0007 0009 0013 0015 0024 0041 0048 0049 0053 0054 0055 0058 0059 0062	会社CD[基本]※必須 社員CD[基本]※必須 社員氏名[基本]※必須 社員氏名[基本]※必須 社員所名[基本] 生年月日[基本] 大社年月日[基本] 入社年月日[基本] 入式年月日[基本]※必須 退職半月日[基本]※必須 共通パスワード[基本]※必須 転出日[現住所]※必須 転出日[現住所] 住所1[現住所] 住所2[現住所] 電話番号[現住所]	
	受入力	ファイル	C.væλ.csv					参照
			受入.csv 気10ファイル名	1 行目	をヘッダーにする	`		
			∮ 11)ファイルの	2 行目;	から受入を行う。			

《外部受入条件設定 項目説明③》

- (1) 検索 検索したい受入項目名を入力し検索ボタンを押すと、該当する受入 項目を選択状態にします。
- (2) 項目詳細設定 外部受入項目設定画面を開きます。 (初期登録後、操作可能となります。)
- (3) 受入先項目一覧

形式選択にて選択された形式に属する項目名を一覧表示します。

(4) 選択された受入項目一覧

受入できる項目一覧にて選択された項目を表示します。

- (5) 選択→ 受入できる項目一覧にて選択されている項目を受入する項目一覧に 追加します。
- (6) ←戻し 受入する項目一覧にて選択されている項目を受入できる項目一覧に 戻します。
- (7) 全て→ 受入できる項目一覧にて表示されている全項目を受入する項目一覧 に追加します。
- (8) ←全て 受入する項目一覧にて表示されている全項目を受入できる項目一覧 に戻します。
- (9) 受入ファイルパス 受入するテキストファイルのファイルパスを表示・選択します。
- (10) 受入ファイルのn行目をヘッダーにする 受入ファイルに選択されたテキストファイルの何行目をヘッダーと するかを指定します。
- (11)受入ファイルのn行目から受入を行う

受入ファイルに選択されたテキストファイルの何行目から受入を行 うかを指定します。

《外部受入詳細設定 画面イメージ》

勤次郎 Web ページ ダイアログ				X
🖉 http:// /Ki	njirouWeb/Common/ap	prove/kwtx03/kwtx03op2.aspx	?dum=2015%2f08%2	2f21+20%3a31%3a24
<外部受入詳細設定 00001:個人情報 登録 閉じる	Wマスタ >			
選択された受入項目一覧] 受入項目選択		受入項目一覧	
会社(0) 法本部(2) (月 社員氏名[基本] ※必須 社員氏名[基本] ※必須 社員時名[基本] ※必須 社員が伝名[基本] 生年月日[基本] 世別[基本] 見社年月日 [基本] ※必須 退職年月日 [基本] 携帯>- (いいしえ[基本]	00001:1 00003:日通 太郎 00004:日通太郎 00004:日通太郎 00005:1%70,00 00006:1%80/01/01 00007:0 00008:2012/04/01 00008:3999/12/31 000010:nitttarou®du	▲ 選択→ ←戻し		上へ移動
数値型			数値・時間型の場合は	「加算、文字・日付型は結合になります
受入元データの形式/編集	書込	み時の編集方法	4	受入条件設定/更新時の反映
✓ 有効桁長 「		□ 固定値入力 を固定値 □ コード変換	で受入 [[● 受入条件設定 ※日付型は西歴4桁・月日各2桁で時間(時刻))は分で入力 ● 更新時の反映 ● 更新受入の場合は受け入れない
受入元項日詳細一覧 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	桁数 条件	設定 受入項目		
会社000[基本] 数値型 会社000[基本] 文字空型 社自600[基本] 文字字型 社自600[基本] 文字字型 社自600[基本] 文字字型 社員600[基本] 文字字型 社員600[基本] 文字字型 社員600[基本] 文字字型 社員600[基本] 文字字型 「竹100[基本] 文字字型 退職年月日[基本] 日付型 現帯米川101[基本] 文字型型 共通ログイン00[基本] 文字型	2 2 20 12 20 8 1 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	00001:1 00002:0000001 00008:日通 太郎 00004:日通太郎 00006:1380/01/01 00006:1380/01/01 00008:2012/04/01 00008:2012/04/01 00008:9399/12/31 00010:nittarou@dummy.cc 00007:0 00002:00000001	.jp	~

《外部受入詳細設定 画面イメージ①》

	<外部受入詳細設定 00001:個人情報	脳マスタ>		
	登録 閉じる (2)			
\sim	選択された受入項目一覧 (検索	受入項目選択	受入項目一覧	
(1		3 0001:1 00002:00000001 00003:日通 太郎 00004:日通太郎 00005:>>> 知力 00006:1380/01/01 00007:0 00008:2012/04/01 00008:2012/04/01 00008:2012/04/01 00000:39393/12/31 00010:nitttarou®dummy.co.jp	6)0001:1 (4) 選択→ (5) ←戻し	7)上へ移動 8)下へ移動

《外部受入詳細設定 項目説明①》

(1) 選択された受入項目一覧

外部受入条件設定画面にて選択された項目を一覧表示します。

(2) 検索 検索したい受入項目名を入力し検索ボタンを押すと、選択された受入項目一覧から該当する該当する項目を選択状態にします。

- (3)受入項目選択 「受入ファイルのn行目から受入を行う」にて設定されたn行目のテキストファイルの内容を表示します。 受入先項目に対しテキストファイルのどの値を受入するのかを紐付け設定します。(複数選択可能)
- (4) 選択→ 受入項目選択にて選択されている項目を受入項目一覧に追加します。
- (5) ←戻し 受入項目一覧にて選択されている項目を受入項目選択に戻します。
- (6) 受入項目一覧 受入項目選択より選択した項目を一覧表示します。複数選択した場合は選択された分のテキストファイルの値が表示されます。

1. 受入先の項目が文字・日付型で複数項目を選択した場合は、選 択された項目の値を一覧表示されている順番で結合して受入します。

2. 受入先の項目が数値・時間(時刻)型で複数項目を選択した場合は、選択された項目の値を一覧表示されている順番で加算して受入します。

※結合する、加算するの判断は《外部受入詳細設定 項目説明②》 (1)受入先項目詳細一覧を参照してください。 結合の場合は「項目&項目・・・」、加算の場合は「項目+項目・・・」と 表示されます。

《外部受入詳細設定:数値型 画面イメージ》

受入元データの形式/編集 書込 1) 「有効桁長 3)	み時の編集方法	入条件設定/更新時の反映
1 又有効析長 3		
1 析目から 2 桁を受入 2 形式選択 ○ 小数点あり ● 小数点なし 小数部(下から) 所	固定値入力 を固定値で受入 マコード変換 選択 88886 雇用CD変換 6	

《外部受入詳細設定:数值型 項目説明》

(1) 有効桁数 テキストファイルの値の一部分を受入したい場合に指定します。
 例:テキストファイルの値 ⇒ 12345678
 有効桁数 ⇒ 3桁目から4桁とした場合「3456」として受入を行います。

(2)形式選択 テキストファイルの値に小数点があるかないかを設定します。
 小数点がない値に小数部が含まれている場合は小数部が下何桁なのかを設定してください。
 例:テキストファイルの値 ⇒ 25
 小数点なしで小数部(下から)1桁と設定した場合「2.5」として受入を行います。

※小数点なしを選択した場合の小数部桁数は受入先の項目に対する 小数部桁数を初期表示します。 また、それ以上の小数部桁数を入力した場合エラーとなります。

- (3) 固定値入力 テキストファイルの値ではなく固定の値を受入する場合に指定します。
 ※受入項目選択にて紐付け設定をしていない場合のみ設定ができます。
- (4) コード変換 他システムのコードを勤次郎のコードに変換します。※コード変換設定画面でコード変換の設定を行います。
- - 上記の通り条件設定を行った場合は、テキストファイルの値 の「3, 4, 5」を受入します。
 - 例2:テキストファイルの値 ⇒ 1, 2, 3, 4, 5
 条件設定 ⇒ ①条件記号「<>」
 ②比較値1「2」/比較値2「5」
 上記の通り条件設定を行った場合は テキストファイルの値の「3, 4」を受入れます。
- (6) 更新時の反映 既に受入れた項目に対し、テキストファイルの値を受入したくない 場合にチェックします。

《外部受入詳細設定:文字型 画面イメージ》

文字型	数値・時間型の	場合は加算、文字・日付型は結合になります
受入元データの形式/編集	書込み時の編集方法	受入条件設定/更新時の反映
1 2 有効桁長 0 桁目から 0 桁を受入	 2 J → ド編集 ● 前ゼロ ○後ゼロ ○前スペース ○後スペース 3 固定値入力 を固定値で受入 4 選択 	5 □受入条件設定 ※日付型は西歴4桁・月日各2桁で 時間(時刻))は分で入力 6 更新時の反映 □更新受入の場合は受け入れない

《外部受入詳細設定:文字型 項目説明》

(1) 有効桁数 テキストファイルの値の一部分を受入したい場合に指定します。例:テキストファイルの値 ⇒ 日通太郎

有効桁長 ⇒ 5桁目から4桁とした場合は「太郎」として受入 を行います。 有効桁長 ⇒ 2桁目から2桁とした場合は「通」として受入を 行います。 ※文字列の半分を受入れることはできません。 例えば1桁目から3桁とした場合、文字列の半分を受入すること ができない為、「日」と受入することとなります。

(2) コード編集 テキストファイルの値が受入先の項目桁数に満たない場合に満たない桁分をコード編集(「前ゼロ」「後ゼロ」「前スペース」「後スペース」)する場合に指定します。
 例:テキストファイルの値 ⇒ 1
 受入先の桁数が8桁で且つ、コード編集を「前ゼロ」を指定した場合は「0000001」として受入を行います。

(3) ~ (6)《外部受入詳細設定 項目説明②:数値型》(3) ~ (6)をご覧ください。

《外部受入詳細設定:時間(時刻)型 画面イメージ》

時間(時刻)型	数値・時間型	型の場合は加算、文字・日付型は結合になります
受入元データの形式/編集	書込み時の編集方法	受入条件設定/更新時の反映
1 □ 有効桁長 ● </td <td>5 端数処理 5 1分未満切捨て 1分未満切捨五入 (少数点第1位迄) 1分未満切り上げ 6 回置定値入力 を固定値で受り</td> <td>7 受入条件設定 ※日付型は西歴4桁・月日各2桁で時間(時刻))は分で入力 3 更新時の反映 回新受入の場合は受け入れない</td>	5 端数処理 5 1分未満切捨て 1分未満切捨五入 (少数点第1位迄) 1分未満切り上げ 6 回置定値入力 を固定値で受り	7 受入条件設定 ※日付型は西歴4桁・月日各2桁で時間(時刻))は分で入力 3 更新時の反映 回新受入の場合は受け入れない

《外部受入詳細設定:時間(時刻)型 項目説明》

(1) 有効桁数 テキストファイルの値の一部分を受入したい場合に指定します。
 例:テキストファイルの値 ⇒ 12345678

有効桁長 ⇒ 3桁目から4桁とした場合は「3456」として受入 を行います。

- (2)進数選択
 テキストファイルの値が60進数なのか10進数なのかを指定します。
 例:テキストファイルの値 ⇒ 30の場合、「60進数」を選択してください。
 テキストファイルの値 ⇒ 0.5の場合、「10進数」を選択してください。
- (3) 時分/分選択 テキストファイルの値が時分の形式で設定されているのかを指定します。

(4)形式選択 テキストファイルの値が記号で時分を区切っているかどうかを指定します。
 (3)にて時分を選択した場合のみ選択が可能です。
 例:テキストファイルの値 ⇒
 630の場合、「6時間30分(6時30分)」として受入を行います。
 ※区切文字がない場合でも「区切文字なし」を選択すると下2桁を分として判断します。

※区切文字とは「:、」を区切文字として認識します。 それ以外は認識できません。

- (5) 端数処理 受入を行う際に端数が発生した場合の処理方法(「1分未満切捨て」 「1分未満四捨五入」「1分未満切り上げ」)を選択します。
- (6)固定値入力 テキストファイルの値ではなく固定の値を受入する場合に指定します。
 時間(時刻)型の固定値を受入する場合は、必ず分で入力してください。
 例:6時間30分の場合、390と入力してください。
 ※受入項目選択にて紐付け設定をしていない場合のみ設定ができま
- (7)~(8)《外部受入詳細設定 項目説明②:数値型》(5)~(6)をご覧ください。

《外部受入詳細設定:日付型 画面イメージ》

す。

日付型	数値・時間型の	場合は加算、文字・日付型は結合になります
受入元データの形式/編集	書込み時の編集方法	受入条件設定/更新時の反映
1 1 1 1 桁目から 8 桁を受入	3 西歴 0 年以上は1900年 4 m暦記号前 0 桁	6 受入条件設定
2 JJYYMMDD (※和暦) V	明治 → 1868 大正 → 1912 昭和 → 1926 平成 → 1983 → → → →	※日付型は西歴4桁・月日各2桁で 時間(時刻)は分で入力
	(5) 固定値入力	7更新時の反映 更新受入の場合は受け入れない

《外部受入詳細設定:日付型 項目説明》

(1) 有効桁数 テキストファイルの値の一部分を受入したい場合に指定します。例:テキストファイルの値 ⇒ 12345678

有効桁長 ⇒ 3桁目から4桁とした場合は「3456」として受入 を行います。

(2) 形式選択 テキストファイルの値の形式(「YYYY/MM/DD」「YYYYMMDD」 「YY/MM/DD」「YYMMDD」「JJYY/MM/DD」「JJYYMMDD」)を指定します。 例:テキストファイルの値 ⇒ 9999/12/31の場合、「YYYY/MM/DD」 を選択してください。

テキストファイルの値 ⇒ 99991231の場合、「YYYYMMDD」を 選択してください。

テキストファイルの値 ⇒ 99/12/31の場合、「YY/MM/DD」を 選択してください。

テキストファイルの値 ⇒ 991231の場合、「YYMMDD」を選択 してください。

テキストファイルの値 ⇒ H99/12/31の場合、「JJYY/MM/DD」 を選択してください。

テキストファイルの値 ⇒ H991231の場合、「JJYYMMDD」を 選択してください。

(3) 西暦n年以上は1900年代

 (1) 形式選択にて「YY/MM/DD」「YYMMDD」を選択した場合に指定ができます。
 設定した西暦n年を判断し、西暦n年以上であれば「YY」に1900を加算し、西暦年とします。それ以外の場合は「YY」に2000を加算し、西暦年として受入を行います。
 例:西暦n年を西暦「99年」として設定した場合 テキストファイルの値 ⇒ 99/12/31 99年に1900を加算し、1999年12月31日として受入を行います。

99年に1900を加算し、1999年12月31日として受人を行います。 テキストファイルの値 \Rightarrow 1/12/31

1年に2000を加算し、2001年12月31日として受入を行います。

(4) 和暦記号前n桁

 (1) 形式選択にて「JJYY/MM/DD」「JJYYMMDD」を選択した場合に指 定ができます。
 設定された和暦記号と西暦年を判断し、受入を行います。

例:和暦記号前1桁で、各和暦記号、西暦年を下記の通り設定した場合
 M → 1868 / T → 1912 / S → 1926 / H → 1989

テキストファイルの値 ⇒ M1/12/31 868年12月31日として受入を行います。

テキストファイルの値 ⇒ T1/12/31 1912年12月31日として受入を行います。

テキストファイルの値 ⇒ S1/12/31 1926年12月31日として受入を行います。

テキストファイルの値 ⇒ H1/12/31 1989年12月31日として受入を行います。

(5) 固定値入力 テキストファイルの値ではなく固定の値を受入する場合に指定します。

日付型の固定値を受入する場合は、必ずYYYYMMDDの形式で入力して ください。

例:9999年1月1日であれば99990101と入力してください。

※受入項目選択にて紐付け設定をしていない場合のみ設定ができま す。

(6) ~ (7) 《外部受入詳細設定 項目説明②:数値型》(5) ~ (6)をご覧くだ さい。

《外部受入詳細設定 画面イメージ②》

	受入先項目詳細一覧					
(1)	受入項目名	属性	桁数	条件設定	受入項目	
	会社00[基本] 社員氏20[基本] 社員氏2名基本] 社員時名[基本] 生年月日[基本] 生年月日[基本] 人社年月日[基本] 現職年月日[基本] 現職等+107-12 援末] 現職等+107-12 援末] 現職等+107-12 援末] 現職等+107-12 [基本] 共通ログイン00[基本]	数文文文文日文日日文文文型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型型	2 8 20 12 20 8 1 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8		00001:1 00002:00000001 00003:目通 太郎 00004:日通太郎 00005:	< >

《外部受入詳細設定 項目説明②》

(1) 受入先項目詳細一覧

受入先項目に対しテキストファイルのどの値が紐付けされているの かを一覧表示します。属性、桁数も一覧で確認することができます。

🥭 コード変換ダイアログ Web ペ	-ジダイアログ 王
@ http://	/KinjirouWeb/Common/approve/kwtx03/kwtx03opCdConv.aspx?mode=2
<コード変換設定> 新規 登録 削除 コード 名称	閉じる 1 - ド (必須) 00002 (数字5桁) 2 名称 (必須) 思わって K恋徳 (会免10カウン)
00002 第51 - ド変換 00003 職位コード変換 00005 分類コード変換 00006 勤務表区分変換 00007 勤務回変換 00008 勤就CD変換	2 2 3 設定変更 登録件数 2 件 3 設定変更 ④ 受入項目 ⇒ 5 勤次郎のコード 6 エラー "男" **** ******************************
	 ※ ER:有効桁数と差があることを意味します。 7)受入設定
	- 上記に設定されていないデータは ●受入しない(エラーログに出力) ○変更せずに受入する
	(8)助次郎のコード編集

《コード変換設定 項目説明》

- (1) コード
 コード変換設定コードを00001~99999までの数値で入力します。
 登録後はコードの変更はできません。変更する場合は削除してから再登録してください。
- (2) 名称 コード変換設定名称を入力します。
- (3) 設定変更 設定変更画面を表示します。
 他システムと勤次郎のコードの紐付け設定を行います。
- (4) 受入項目 外部システムから受入するコードを表示します。

(5) 勤次郎のコード

勤次郎のコードを表示します。

- (6) エラー 有効桁数と差がある場合、「ER」と表示します。
- (7)受入設定 コード変換設定のされていないデータについて設定します。 受入しない場合は、エラーログを出力し受入しません。 変換せずに受入する場合は、受入項目のまま受入します。
- (8) 勤次郎のコード編集
 - 有効桁数を指定し、勤次郎のコードの形式を「前ゼロ」「後ゼロ」 「前スペース」「後スペース」から選択します。 例:有効桁数 3、コード編集 前ゼロ とした場合 1 ⇒ 001

《コード変換設定変更 画面イメージ》

🧿 勤次郎 Web ページ ダ	イアログ				×
🖉 http://	/KinjirouWeb/Comm	on/approve/kwtx0)3/kwtx03opCdConv2.aspx?n	node=2	
<設定変更> 新規 登録件数2件 受入項目 → 受入項目 → F 女 X * ER:有幼桁数と差が	削除 閉じる 動次郎のコード 1 0 1 5 5 あることを意味します。	15- 1 2	受入項目(必須) 動次郎のコード(必須)	9 男 (英数字1桁)	(全角10文字/半角20文字)

《コード変換設定 項目説明》

- (1) 受入項目 外部システムから受入するコードを入力します。
- (2) 勤次郎のコード 勤次郎のコードを入力します。

🦲 勤次郎 Web ペ-	-ジダイアログ
🙋 http://	/KinjirouWeb/Common/approve/kwtx03/kwtx03opCopy.
< 外部受入条件設	定の複写>
1 旗写元	00001 個人情報マスタ
2コード (必須)	01001 (数字5桁)
3 名称 (必須)	個人情報-年休 (全角10文字)
4受入ファイル	C:¥個人情報.csv 参照
	決定取消

《複写 項目説明》

- (1) 複写元 複写ボタンを押した時に選択していた条件を表示します。
- (2) 条件コード 複写の際に新しく作成する条件設定のコードを入力します。
- (3) 条件設定名称 複写の際に新しく作成する条件の名称を入力します。
- (4) 受入ファイル 複写の際に新しく受入するテキストファイルのファイルパスを表示 選択します。

http://	/KinjirouWeb/Common/approve/kwtx03/kwtx03opSmile.asp	X
Smile連携詳	細設定>	
登録	閉じる	
ERAE I		
) 条件設定コー 		
✔ 組職情報	066021 SMILE_人事基本情報 ∨	
☑ 人事基本的	情報 066021 SMILE_人事基本情報 ∨	
✔ 住所情報	066026 SMILE_職制情報 🗸	
✔ 職制情報	066026 SMILE_職制情報 🗸	
I/\98X I#¥IX		
☑社員マス会	ター U66023 SMILE_P开稿M(職場) ✓	
☑所属マスク	ター 066025 SMILE_所属M(部門) 🗸	
)連携後の受2		
●する	⊖เนเเ ∭⊛ร่ว ⊖เนเเ	
)勤次郎のイン C:¥KinErp¥k	ノストールフォルダー <injirou¥bin< th=""><th></th></injirou¥bin<>	
)勤次郎のイン C:¥KinErp¥k	ノストールフォルダー <injirou¥bin< td=""><td></td></injirou¥bin<>	
)勤沃郎のイン C:¥K inErp¥k	ノストールフォルダー <injirou¥bin< td=""><td></td></injirou¥bin<>	
)動次郎のイン C:¥K inErp¥k 設定2	ノストールフォルダー <injirou¥bin< td=""><td></td></injirou¥bin<>	
)勤決郎のイン C:¥K inErp¥k 設定2 会社 077	ルストールフォルダ kinjirou¥bin 林式会社 勤次郎システム、 ✓	
)勤次郎のイン C:¥K inErp¥k 設定2 - 会社 077 う マ就業バ		
)勤次郎のイン C:¥K inErp¥k 設定2 一 会社 077 5 マ 就業パ 暇		±で
)勤次郎のイン C:¥K inErp¥k 設定2 - 会社 077 5 √ 就業バ 昭 レベル0 0 レベル1	パストールフォルダー kinjirou¥bin 株式会社 勤次郎システム パスワードレベル設定 脳位 酸位 10003 営業本部長 〇	± で まで
)勤次郎のイン C:¥K inErp¥k 設定2 一会社 077 う マ就業パ ゼベル0 0 レベル1 0 レベル2 0	パストールフォルダー kinjirou¥bin 株式会社 勤次郎システム パスワードレベル設定 触位 10003 営業本部長 〇	まで まで まで まで
) 勤次郎のイン C:¥KinErp¥k 設定2 会社 077 う マ 就業パ レベル0 0 レベル1 0 レベル2 0 レベル3 0	パストールフォルダ kinjirou¥bin 株式会社 勤次郎システム パスワードレベル設定 酸位 00003 営業本部長 〇 <	まで までで ままで ままで
) 勤次郎のイン C:¥K inErp¥k 設定2 会社 077 5 √ 就業パ 増 レベル0 0 レベル0 0 レベル2 0 レベル3 0 レベル4 0	パストールフォルダー kinjirou¥bin 株式会社 勤次郎システム パスワードレベル設定 酸位 00003 営業本部長 〇〇〇〇03 営業本部長 〇〇〇〇03 営業本部長 〇〇〇〇03 営業本部長 〇〇〇〇03 営業本部長 〇〇〇〇03 営業本部長 〇〇〇〇03 営業本部長 〇〇〇〇〇3 営業本部長 〇〇〇〇〇3 営業本部長 〇〇〇〇〇3 営業本部長 〇〇〇〇〇3 営業本部長	 でででででででででででででででででででででです。 まままままで
) 勤次郎のイン C:¥K inErp¥k 設定2 → 会社 077 う √ 就業パ 昭 レベル0 0 レベル1 0 レベル2 0 レベル4 0 レベル5 0 (※上記範	パストールフォルダー kinjirou¥bin 株式会社 勤次郎システム パスワードレベル設定 勉位 10003 営業本部長 〇〇〇〇〇3 営業本部長 〇〇〇〇3 営業本部長 〇〇〇〇〇3 営業本部長 〇〇〇〇〇3 営業本部長 〇〇〇〇〇3 営業本部長 〇〇〇〇3 営業本部長 〇〇〇〇3 営業本部長 〇〇〇〇〇3 営業本部長 〇〇〇〇3 営業本部長 〇〇〇〇〇3 営業本部長 〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	まままま すででででででででででででででででででででででででででででででででで
) 勤次郎のイン C:¥K inErp¥k 設定2 会社 077 う √ 就業バ レベル0 0 レベル2 0 レベル2 0 レベル4 0 レベル5 0 (※上記範	パストールフォルダー kinjirou¥bin 株式会社 勤次郎システム パスワードレベル設定 酸位 00003 営業本部長 〇〇〇〇〇3 営業本部長 〇〇〇〇3 営業本部長 〇〇〇〇〇3 営業本部長 〇〇〇〇3 営業本部長 〇〇〇〇〇3 営業本部長 〇〇〇〇〇	 ででででででででででででででででででででででででででででででで
) 勤次郎のイン C:¥K inErp¥k 設定2 会社 077 う √ 就業パ ピベル00 レベル00 レベル1 レベル2 レベル4 レベル4 レベル5 (※上記範 の) √ 承認権	バストールフォルダー kinjirou¥bin 株式会社 勤次郎システム パフードレベル設定 勉加 酸位 00003 営業本部長 〇	ままままま ままままま
) 勤次郎のイン C:¥K inErp¥k 設定2 会社 077 5 √ 就業パ レベル0 0 レベル2 0 レベル2 0 レベル4 0 レベル4 0 レベル5 0 ベンベル5 0 の の の の の の の の の の の の の	パストールフォルダ kinj irou¥bin 株式会社 勤次郎システム パフードレベル設定 酸位 00003 営業本部長 〇〇〇〇3 営業本部長 〇〇〇〇〇3 営業本部長 〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	まままままま
) 助次郎のイン C:¥K inErp¥k 設定2 会社 077 5 √ 就業パ レベル00 レベル00 レベル2 レベル3 レベル4 レベル4 レベル4 レベル5 ・ (※上記範 の の の の の の の の の の の の の	パストールフォルダ kinjirou¥bin 株式会社 勤次郎システム パスワードレベル設定 勉加 酸位 00003 営業本部長 〇	 ででででででででででででででででででででででででででででででで
) 勤次郎のイン □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	バストールフォルダー kinjirou¥bin 株式会社 勤次郎システム 第次日 第位 10003 営業本部長 マ ロ マ ロ マ ロ マ ロ マ ロ マ ロ マ ロ ロ ロ ロ ロ ロ	ままままま でででででででででででででででででででででででででででででででで
) 勤次郎のイン C:¥K inErp¥k 設定2 会社 077 5 √ 就業パ レベル0 0 レベル0 0 レベル2 0 レベル2 0 レベル3 0 レベル2 0 レベル2 0 レベル2 0 レベル2 0 レベル2 0 レベル2 0 レベル2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	ノストールフォルダー kinjirou¥bin 株式会社 勤次郎システム パフードレベル設定 酸位 00003 営業本部長 〇	
) 勤次郎のイン C:¥K inErp¥k 設定2 会社 077 う √ 就業パ レベル00 レベル10 レベル20 レベル40 レベル40 レベル50 (※上記範 の の の の の の の の の の の の の	バストールフォルダー kinjirou¥bin 株式会社 勤次郎システム ズワードレベル設定 鮎位 酸位 20003 営業本部長 マ 町内内のユーザーに権限付与します。 総位 10003 営業本部長 マ 10006 係長 マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ	

《Smile連携詳細設定 項目説明》

(1) 条件設定コード

連携を行う条件設定を選択します。

- (2) 連携後の受入元ファイル削除設定 連携後、受入元のファイルを削除するかどうかの設定を行います。
- (3) SMILE出向機能の連携設定SMILE出向機能の連携を行うかどうかの設定を行います。
- (4) 勤次郎のインストールフォルダ
 勤次郎CS版がインストールされているフォルダを入力します。
 ※ASPサービスをご利用の場合は、設定する必要がないため表示されません。
- (5) 就業パスワードレベル設定 個人情報の連携の際、指定した職位の社員の就業パスワードレベル を設定します。 設定のない職位の社員はパスワードレベル5として連携します。 職位のコードは、小さい値~大きい値で設定する必要があります。
 例:職位マスタに00001~00010の登録がある場合 00001~00003、00007~000009のように設 定してください。
- (6) 承認権限付与設定

個人情報の連携の際、指定した職位の社員のみ承認権限を付与しま す。 職位のコードは、小さい値~大きい値で設定する必要があります。

例:職位マスタに00001~00010の登録がある場合 00001~00003、00007~00009のように設 定してください。

POINT

「異動情報の受入」で利用した受入ファイルを流用したい場合、下記のよう に受入フォーマットを修正する必要があります。

①異動データ

受入フォーマットに[会社CD]と[職場(所属)履歴終了日]を追加してくだ さい。

受入フォーマット(修正前):

[異動対象社員の個人CD], [異動日], [異動先職場CD(部門CD)] 受入フォーマット(修正後):

スフォーマント (修正区) [会社CD], [異動対象社員の個人CD], [異動日], [職場(所属)履歴終了 日], [異動先職場CD(部門CD)]

例:1会社の"00000001 日通 太郎" が "1234567890 職場A"に 2015年10月16日から異動する場合

⇒ 1,0000001,2015/10/16,9999/12/31,1234567890

※:複数会社データの受入がない場合、固定値で[会社CD],[職場(所属)履歴終了日]を設定すれば、「勤次郎CS版」ー「異動情報の受入」で利用した受入ファイルをそのまま利用できます。

②承認ルート

受入フォーマットに[システムID] と[有効期間終了日]を追加して下さい。 受入フォーマット(修正前):

[会社CD], [職場CD], [申請区分], [有効期間開始日], [承認者1個人CD], [承認者1個人CD], [承認者2個人CD], [承認者3個人CD], [承認者4CD], [承認者5個人CD], [承認形態]

受入フォーマット(修正後):

 [会社CD], [職場CD], [システムID], [申請区分], [有効期間開始日], [有効期間終了日], [承認者1個人CD], [承認者1個人CD], [承認者2個人CD], [承認者3個人CD], [承認者4個人CD], [承認者5個人CD], [承認形態]
 例:1会社の"1234567890 職場A"に対して2015年10月16日から残業申請の承認ルートを設定する。承認者は"0000001 日通 太郎" と"1000001 日通 次郎"で承認形態は最高承認とする場合。 ⇒ 1, 1234567890, K1, 0, 2015/10/16, 9999/12/31, 00000001, 10000001

・1,1234507890,N1,0,2015/10/10,9999/12/31,00000001,1000000 ,,,,3 、、 田中佐でいていり、「古効期間約スロ」 た訳中土ねば

※:固定値で[システムID],[有効期間終了日]を設定すれば、 「勤次郎CS版」-「異動情報の受入」で利用した受入ファ イルをそのまま利用できます。